

EVENING LECTURE

藤村

Ryuji Fujimura

龍至

×

SUAC

2019

1/16 Wed 18:30-

ちのかたちとしての建築

建築家 — 東京藝術大学准教授 — RFA主宰

photo:Kenshu Shintsubo

南176

ちのかたちとしての建築

私は建築を知識と形態の創造的な関係＝「ちのかたち」として捉えています。これまでの実践から、設計の内容はその履歴を可視化することで生み出す建築をより複雑なものへと進化させ、またその作業をより多くの人で行い、ときに機械による計算を伴うことで、より多くの人でよりよいものを生み出す集合的な知を形成する方法論へと展開することができると考えています。今回はそのような考えに至った背景、作品、将来の展望についてお話ししたいと思います。



さばる保育園(2018)

OM TERRACE(2017)

つるがしま中央交流センター(2018)

写真:太田拓実

PROFILE



photo:Kenshu Shintsubo

建築家 | 東京藝術大学准教授 | RFA主宰 **藤村 龍至 氏** Ryuji Fujimura

- 1976 東京都生まれ
- 2002 東京工業大学大学院修了
- 略歴 2002-03 ベルラーヘインスティテュート(オランダ)
- 2003-08 東京工業大学大学院博士課程
- 2010-16 東洋大学専任講師
- 現在 東京藝術大学准教授・RFA主宰

建築家。1976年東京生まれ。2008年東京工業大学大学院博士課程単位取得退学。2005年よりRFA主宰。2010年より東洋大学専任講師。2016年より東京藝術大学准教授。2017年よりアーバンデザインセンター大宮(UDCO)副センター長/ディレクター、鳩山町コミュニティ・マルシェ総合ディレクター。住宅、集合住宅、公共施設などの設計を手がけるほか、公共施設の老朽化と財政問題を背景とした住民参加型のシティアナ

ジメントや、ニュータウンの活性化、中心市街地再開発などのデザインコーディネーターとして公共プロジェクトにも数多く携わる。主な建築作品に「さばる保育園」(2018)、「さいたま市大宮駅東口駅前おもてなし公共施設 OM TERRACE」(2017)、「鶴ヶ島太陽光発電所環境教育施設」(2014)、「BUILDING K」(2008)。

主な著書に「ちのかたち——建築的思考のプロトタイプとその応用」(TOTO出版、2018)、「批判的工学主義の建築」(NTT出版、2014)、「プロトタイプ——模型とつづやき」(LIXIL出版、2014)。

主なアーバンデザインプロジェクトに「おとがわプロジェクト」(2015-)、「大宮東口プロジェクト」(2013-)、「鶴ヶ島プロジェクト」(2012-)。

対象 どなたでも参加できます。

入場 無料

定員 200名

申込 事前申込不要

お問合せ先 静岡文化芸術大学 地域連携室 〒430-8533 浜松市中区中央 2-1-1
TEL: 053-457-6105 FAX: 053-457-6123

主催 静岡文化芸術大学 文化・芸術研究センター



ACCESS アクセス

【徒歩】JR浜松駅から徒歩15分
【バス】浜松駅バスターミナル 10番のりば遠鉄バス「文化芸術大学」下車。(70番子安・笠井行きを除きます。)
12番のりば循環まちバス「くるる」北ルート「文化芸大」下車

※本学には駐車場はございません。公共交通機関、又は近隣の有料駐車場をご利用ください。